

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成28年12月15日 (2016.12.15)

【公表番号】特表2016-501841 (P2016-501841A)

【公表日】平成28年1月21日 (2016.1.21)

【年通号数】公開・登録公報2016-005

【出願番号】特願2015-540115 (P2015-540115)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/445 (2006.01)  
 A 6 1 P 3/10 (2006.01)  
 A 6 1 K 31/55 (2006.01)  
 A 6 1 K 31/195 (2006.01)  
 A 6 1 K 31/216 (2006.01)  
 A 6 1 K 31/137 (2006.01)  
 A 6 1 K 31/4402 (2006.01)  
 A 6 1 K 31/495 (2006.01)  
 A 6 1 K 31/7004 (2006.01)  
 A 6 1 K 31/50 (2006.01)  
 A 6 1 K 31/138 (2006.01)  
 A 6 1 K 31/48 (2006.01)  
 A 6 1 K 31/196 (2006.01)  
 A 6 1 K 31/4453 (2006.01)  
 A 6 1 K 31/519 (2006.01)  
 A 6 1 P 43/00 (2006.01)  
 A 6 1 K 31/7034 (2006.01)  
 A 6 1 K 31/64 (2006.01)  
 A 6 1 K 31/506 (2006.01)  
 A 6 1 K 31/4745 (2006.01)  
 A 6 1 K 31/18 (2006.01)  
 A 6 1 K 31/155 (2006.01)  
 A 6 1 K 45/00 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 31/445  
 A 6 1 P 3/10  
 A 6 1 K 31/55  
 A 6 1 K 31/195  
 A 6 1 K 31/216  
 A 6 1 K 31/137  
 A 6 1 K 31/4402  
 A 6 1 K 31/495  
 A 6 1 K 31/7004  
 A 6 1 K 31/50  
 A 6 1 K 31/138  
 A 6 1 K 31/48  
 A 6 1 K 31/196  
 A 6 1 K 31/4453  
 A 6 1 K 31/519  
 A 6 1 P 43/00 1 2 1  
 A 6 1 K 31/7034

A 6 1 K 31/64  
A 6 1 K 31/506  
A 6 1 K 31/4745  
A 6 1 K 31/18  
A 6 1 K 31/155  
A 6 1 K 45/00

【手続補正書】

【提出日】平成28年10月24日(2016.10.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

必要とする哺乳動物被験体における、糖尿病の、又は、耐糖能障害、空腹時血糖異常、インスリン抵抗性、メタボリックシンドローム、食後高血糖及び体重過多／肥満から選択された関連疾患の処置に使用するための、イフェンプロジル若しくはフェンスピリド、又はその塩、プロドラッグ、誘導体若しくは持続放出製剤を含む組成物。

【請求項 2】

前記組成物が、アカンプロサート、アルミトリン、アンレキサノクス、アゼラスチン、バクロフェン、カルベタペンタン、シナカルセト、デクスブロムフェニラミン、ジエチルカルバマジン、D - マンノース、フェンスピリド、フェキシソフェナジン、イフェンプロジル、メキシレチン、ニセルゴリン、トルペリゾン、トラセミド、トリウムテレン、トルフェナム酸、ピリベジル、レボシメンダン、シメチジン、ジブロフィリン、イデベノン、及びリルメニジンから選択された少なくとも 1 つの別個の化合物、又はその塩、プロドラッグ、誘導体若しくは持続放出製剤をさらに含む、請求項 1 の使用のための組成物。

【請求項 3】

少なくとも 1 つの別個の化合物が、アカンプロサート、アルミトリン、アゼラスチン、バクロフェン、カルベタペンタン、シナカルセト、デクスブロムフェニラミン、ジエチルカルバマジン、D - マンノース、フェンスピリド、イフェンプロジル、レボシメンダン、メキシレチン、ニセルゴリン、トルフェナム酸、トルペリゾン、トラセミド、及びトリウムテレンから選択される化合物、又はその塩、プロドラッグ、誘導体若しくは持続放出製剤である、請求項 2 の使用のための組成物。

【請求項 4】

前記組成物が、以下の化合物の組合せ：

- イフェンプロジル及びアカンプロサート、
- イフェンプロジル及びバクロフェン、
- イフェンプロジル及びニセルゴリン、
- イフェンプロジル及びフェンスピリド、
- イフェンプロジル及びトラセミド、
- イフェンプロジル及びトリウムテレン、
- イフェンプロジル及びトルフェナム酸、
- フェンスピリド及びトラセミド、
- フェンスピリド及びトリウムテレン、
- フェンスピリド及びトルフェナム酸、

の少なくとも 1 つ、又はその塩、プロドラッグ、誘導体若しくは持続放出製剤を含む、請求項 1 又は 2 の使用のための組成物。

【請求項 5】

少なくとも１つの抗糖尿病剤をさらに含む、請求項１～４のいずれか一項の使用のための組成物。

【請求項６】

少なくとも１つのさらなる抗糖尿病剤が、アカルボース、アセトヘキサミド、アログリブチン、ベルベリン、ベザフィブラート、プロモクリブチン、ブホルミン、カルブタミド、クロルプロパミド、ピコリン酸クロム、シプロフィブラート、クロフィブラート、コレセベラム、デクスフェンフルアミン、デュトグリブチン、エキセナチド、フェノフィブラート、ゲムフィプロジル、ゲミグリブチン、グリベンクラミド、グリボルヌリド、グリセタニル、グリクラジド、グリメピリド、グリピジド、グリキドン、グリセンチド、グリクロピラミド、イミダプリル、インスリン、イヌリン、リボ酸、リナグリブチン、リラグルチド、メコバラミン、メトホルミン、ミグリトール、ミチグリニド、ナテグリニド、オリスタット、フェンホルミン、ピオグリタゾン、ブラムリンチド、レバグリニド、ロシグリタゾン、サキサグリブチン、シタグリブチン、トラザミド、トルブタミド、ビルダグリブチン、又はボグリボースから選択される抗糖尿病剤、又はその塩、プロドラッグ、誘導体若しくは持続放出製剤である、請求項５の使用のための組成物。

【請求項７】

少なくとも１つのさらなる抗糖尿病剤が、メトホルミン、又はその塩、プロドラッグ、誘導体若しくは持続放出製剤である、請求項５の使用のための組成物。

【請求項８】

前記組成物が、以下の化合物の組合せ：

- イフェンプロジル及びメトホルミン、
- フェンスピリド及びメトホルミン、
- イフェンプロジル及びアカンプロサート及びメトホルミン、
- イフェンプロジル及びバクロフェン及びメトホルミン、
- イフェンプロジル及びニセルゴリン及びメトホルミン、
- イフェンプロジル及びフェンスピリド及びメトホルミン、
- イフェンプロジル及びトラセミド及びメトホルミン、
- イフェンプロジル及びトリウムテレン及びメトホルミン、
- イフェンプロジル及びトルフェナム酸及びメトホルミン、
- フェンスピリド及びトラセミド及びメトホルミン、
- フェンスピリド及びトリウムテレン及びメトホルミン、
- フェンスピリド及びトルフェナム酸及びメトホルミン

の少なくとも１つ、又はその塩、プロドラッグ、誘導体若しくは持続放出製剤を含む、請求項７の使用のための組成物。

【請求項９】

必要とする哺乳動物被験体における血中グルコースレベルの制御に使用するための、請求項１～８のいずれか一項記載の組成物。

【請求項１０】

哺乳動物被験体が、糖尿病、又は、耐糖能障害、空腹時血糖異常、インスリン抵抗性、メタボリックシンドローム、食後高血糖及び体重過多／肥満から選択された関連疾患を患っている、請求項９記載の組成物。

【請求項１１】

前記化合物（群）が、前記哺乳動物被験体において、脂肪細胞及び／又は筋肉細胞へのグルコースの取り込みを増加又は刺激する、請求項１～１０のいずれか一項の使用のための組成物。

【請求項１２】

前記化合物（群）が、前記哺乳動物被験体において、膵細胞のアポトーシスを減少させる、請求項１～１０のいずれか一項の使用のための組成物。

【請求項１３】

必要とする哺乳動物被験体におけるインスリン抵抗性の低下に使用するための、請求項

1 ～ 8 のいずれか一項記載の組成物。

【請求項 14】

被験体が 2 型糖尿病を患っている、請求項 1、9 及び 13 のいずれか一項の使用のための組成物。

【請求項 15】

薬学的に許容される担体又は賦形剤をさらに含む、請求項 1 ～ 14 のいずれか一項の使用のための組成物。

【請求項 16】

前記組成物中の化合物が、一緒に、別々に又は順次製剤化又は投与される、請求項 1 ～ 15 のいずれか一項の使用のための組成物。

【請求項 17】

前記組成物が被験体に反復投与される、請求項 1 ～ 16 のいずれか一項の使用のための組成物。